



# おひさま

山形市立第五小学校

学校だより

令和7年2月25日

校長

No. 11 太田 千春

## おおきくなるっていうことは

2月3日（火）の全校朝会では、各クラスと Teams をつないで今年度最後の校長講話を行いました。講話では、中川ひろたか さんがお書きになった絵本「おおきくなるっていうことは」を紹介し、おおきくなるっていうことについてみんなで考えてみました。この絵本に出てきた園長先生は、おおきくなるっていうことは、「ちいさなひとに、やさしくなれるってこと」と語っていました。

講話の後、子供たちがこれまでの自分の成長を振り返ったり、なりたい自分を思い描いたりしながら、中川さんの絵本になぞらえて詩をつくってくれましたので紹介します。

おおきくなるっていうことは

六年 ー ・ ー

おおきくなるっていうことは  
力が強くなるってこと

おおきくなるっていうことは

好ききらいしないってこと

おおきくなるっていうことは

覚えられるものが多くなるってこと

おおきくなるっていうことは

頭が良くなるってこと

おおきくなるっていうことは

人のことを傷つけないってこと

おおきくなるっていうことは

責任も大きくなるってこと

おおきくなるっていうことは

責任から逃げないってこと

おおきくなるっていうことは

そつこいこと

またひとつ おおきくなった

### 【子供たちが考えたおおきくなるっていうこと】

- とけいもよめるってこと
- お手伝いができるってこと
- おこづかいがふえるってこと
- 約束が守れるってこと
- お友だちがふえるってこと
- がまんでできるようになるってこと
- 人の気持ちがわかるようになるってこと
- 新しいことにチャレンジできるってこと
- 自分で考えられるようになるってこと
- 他人にゆずれるようになるってこと
- 考え事や悩みがふえるってこと
- 自分を大好きになるってこと
- 努力を続けられるようになるってこと

詩を書きあげた子供から校長室に作品を届けに来てくれました。全ての作品を読ませていただきましたので、その中から一部を抜粋して左に載せました。身体が成長するだけでなく、思考が成長すること、心が成長することなど、おおきくなるっていうことについて、発達の段階に応じ、一人一人がよく考えてくれたことが伝わってきて、とてもうれしい気持ちになりました。

子供たちは、成功も失敗も、たくさんの経験を積み重ねることで成長を続け、一歩ずつ大人へと近づいていきます。一人一人の成長を温かな思いで見守り、支え続けていきたいという思いを新たにしました。

# 山形市教育委員会委嘱 第3回公開研究会

今年度、本校は山形市教育委員会委嘱による学校研究を行っております。研究主題を「一人一人の子供を主語にした授業づくりを目指して」(2年次)と設定し、全ての子供の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の観点から授業づくりに取り組んでいるところです。

2月4日(水)、東北文教大学子ども教育学科から大谷敦司 特任講師をお招きして第3回目の公開研究会を行い、第4学年総合的な学習の時間の授業を公開しました。自立した学習者として学び続ける子供を育てていくことを目指し、多様な子供たちの「深い学び」をより確かなものとするのできるよう研鑽を重ねてまいりたいと思います。

【第4学年 総合的な学習の時間 「おいしい山形大発見！」高橋 香菜 教諭 井上 媛捺 教諭】

山形の食文化に代表される郷土料理「芋煮」の起源や継承されてきた背景を学んだ子供たちは、そのよさを伝えたいと、情報発信に向けた活動に取り組んでいます。交渉やイラスト、web デザイン、情報収集・整理の各係に分かれてweb ページを作成し、山形市のブランド戦略課に提案することになっています。発信する情報には責任が伴うことも理解しながら、よりよいサイトをつくろうと内容や表現方法を検討していました。



## だがしや楽校

2月14日(土)、第五学区子ども会育成連合会の主催による「だがしや楽校」が本校の体育館で開催されました。

今年度は、3年生が総合的な学習の時間に取り組んだ手作り玉こんにゃくの販売ブースも設けられました。何度も試作を繰り返し、千歳山こんにゃくの再現に挑戦してきておりましたので、買っていただいたお客様の高評価に満足した笑顔を浮かべていました。



## ようこそ楽しい小学校へ

2月5日(木)と13日(金)に近隣の幼児教育施設の年長組さんをお迎えし、「ようこそ楽しい小学校へ」の会を行いました。当日は、自分たちの力で会を進行し、少人数のグループに分かれて自己紹介を行った後、学校を案内して回ったり、生活科で学習した「昔の遊び」を教えてあげたりしました。自分より年下の子を気遣う姿に、改めて1年生の子供たちの成長を実感することができました。



# 平和学習を通して学んだこと

1月26日（月）、6年生が国立長崎原爆戦没者追悼平和記念館とオンラインでつながり13歳のときに被爆された丸田和男さんから直接お話を伺う機会がありました。

日本は、第二次世界大戦に加わってアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れ、国内各地への空襲や沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、大きな被害を受けました。また、この戦争によって多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害も与えました。第6学年社会科では、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるよう学習を行っています。

以下に、子供の感想を紹介します。

経験がない私たちに、戦争がどれだけ苦しいか、平和がどれだけ大切なことかなど、貴重なお話を伝えてもらい、とても感謝しています。ほくは、今の生きている時間がどれだけ大切なことを考え、この出来事が忘れ去られないように伝えていき、常に戦争のない世界をつくり上げていかなければならないことが深くわかりました。



## 1・2年生 雪上教室

2月10日（火）、1・2年生が山形市少年自然の家に行き、雪上教室を行いました。晴天にたっぷりの新雪と絶好のコンディションに恵まれ、午前の雪遊びから午後のそり&チューブ滑りまで、安全に留意しながら思いっきり冬の自然を満喫して過ごすことができました。また、入・退所式での進行や挨拶などを1・2年生で分担して行ったり、公共の場所でのマナーを守って行動したりすることもでき、みんな大満足の様子でした。

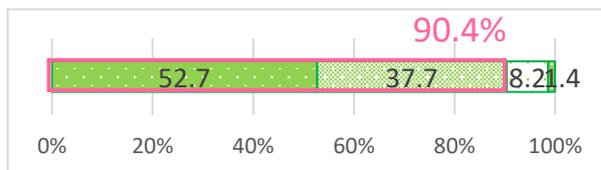


## お詫びと訂正のお願い

1月24日付で発行しました学校だより「おひさま」No.10に記載の誤りがございましたので、お詫びの上、訂正をお願いします。

記載の誤りは、【経営の方針】2 関わりを通して多様性を受け入れ、互いに高め合う関係性を構築する に係る保護者アンケートの質問8「学校は、仲間はずれやいじめ等の未然防止に向けた指導を行っている」の肯定的な評価の割合の数値です。

8 学校は、仲間はずれやいじめ等の未然防止に向けた指導を行っている。



(誤) 92.7% ⇒ (正) 90.4%

第五小学校のHPに掲載している学校だよりは、2月2日に訂正させていただいております。大変申し訳ございませんでした。